

店が立ち並ぶものも多い。これらの露店は人々のハレの日の楽しみの一つでもあり、露店の店頭でのやり取りが、活気にあふれた雰囲気を町の中に漂わせる。中には、十日えびすの笹や、おけらまいるの火縄など、特定のものを持ち帰るのが風習になっているものもあり、それらのものを携えた人々が寺社の門前や参道などにひしめく姿も見られる。

歴史的な町並みの中で繰り広げられるこれらの営みにより、普段の落ち着いた雰囲気とは違う、彩りある雰囲気を感じさせる。

そして、葵祭りや新緑、祇園祭と夏の蒸し暑さ、おけらまいると暮れの寒さなど、それらの祭礼の到来は季節の到来でもあり、自然風景の変化や気候の変化を肌で感じながら、人々は四季折々にちりばめられたハレの祭礼を楽しみ、一年を過ごす。例に示した以外にも、京都には多くの祭礼があり、これらが一年を通じて市内各所で行われることで、四季の移ろいやそれぞれの地域の多様性を感じさせるとともに、平安時代より続く京都の歴史の奥深さを感じさせる。

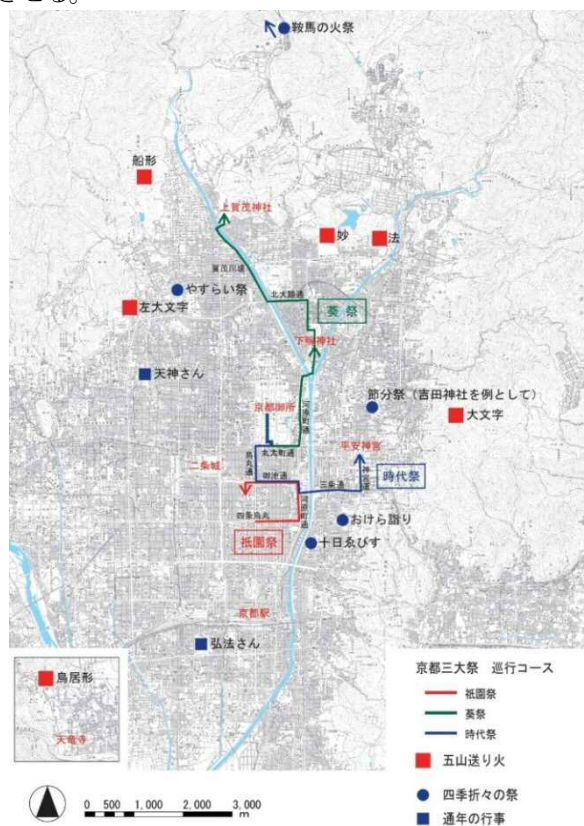


図2-26 京都の祭礼

京都の主な祭礼と年中行事

月	日	年中行事＜場所＞	内容
1月	元旦～	初詣	
1月	1～3日	おおぶくふくちや 皇 服 茶＜六波羅蜜寺＞	
	2日	ちょうな 鉦 始め＜広隆寺＞	奈良時代から伝わるといわれる行事で、建築関係者が1年の無事を願う。
	4日	けまり 蹴鞠始め＜下鴨神社＞	貴族の優美な遊びを伝える行事
	8～12日	えびす 初ゑびす＜恵美須神社＞	
	14日	法界寺(日野)裸踊り＜法界寺＞	
	15日に近い日曜日	通し矢＜三十三間堂＞	
	15日	いまくまの とんど＜新熊野神社＞	
	25日	初天神＜北野天満宮＞	菅原道真の誕生日と亡くなった25日にちなんで毎月行われる縁日のうち、1月は初天神、12月は終い天神と呼んで、多くの出店が立ち並ぶ。
	28日	初不動＜狸谷山不動院＞	
2月	2～4日	節分祭＜市内各神社＞	
	初午の日	初午大祭＜伏見稲荷大社＞	
	23日	ごだいりきそんにんのうえ 五大力尊仁王会 ＜醍醐寺＞	
	24日	さんやれさい 幸在祭＜上賀茂神社＞	
	25日	梅花祭＜北野天満宮＞	梅を好んだ菅原道真をしのんで、梅の花を供える行事
3月	14～16日	涅槃会＜泉涌寺・東福寺・真如堂ほか＞	釈迦の命日にちなんだ法要
	15日	嵯峨お松明・嵯峨大念仏狂言 ＜清涼寺＞	
	最終日曜日	はねず踊り ＜随心院＞	小野小町と深草少将の「百夜通い」にちなんで少女が歌い踊る華やかな行事
4月	8日	花まつり＜壬生寺・西本願寺・真如堂ほか＞	釈迦の誕生日に行われる行事
	10日	桜花祭＜平野神社＞	花山天皇が桜の木をお手植えされたいわれにちなむ祭
	第2日曜日	やすらい祭＜今宮神社＞	
	第2日曜日	ほうたいこう 豊太閤花見行列＜醍醐寺＞	豊臣秀吉の「醍醐の花見」を再現した祭
	13日	まい 十三詣り	
	20日以降の日曜日	神幸祭＜松尾大社＞	
	第3日曜日	吉野太夫花供養＜常照寺＞	江戸時代の吉野太夫をしのんで、太夫道中が行われる。